

第4回 四国クラブユースサッカー (U-15) Partida 2025

大会 規 程

■競 技 方 法

- (1) 出場34チームを11グループに分けてグループステージを行う。グループA（4チームリーグ）の1位と2位、グループB～K（3チームリーグ）の1位、ならびにグループB～Kの2位の中から成績上位の4チームの計16チームによるノックアウトステージを行う。2位の上位4チームについては、勝ち点、得失点差、総得点と同じ場合には抽選で順位を決定する。
- (2) ルールは、日本サッカー協会発行「サッカー競技規則2025/2026」による。
- (3) 試合時間はグループステージにおいては50分（ハーフタイムは5分）とし、競技時間内に勝敗が決まらない場合は引き分けとする。ノックアウトステージにおいては60分（ハーフタイムは10分）とし、競技時間内に勝敗が決まらない場合は、PK戦方式により勝敗を決定する。
- (4) 各グループステージの順位決定は以下の通りとする。
 - ①：勝点は、勝ち=3点・引き分け=1点・負け=0点とし、勝点の多い方を上位とする。
 - ②：勝点と同じ場合は、得失点差の多い方を上位とする。
 - ③：得失点差が同じ場合は、得点の多い方を上位とする。
 - ④：③の得点でも同じ場合は、当該チーム同士の対戦結果にて決定するが、なお引き分けの場合は、抽選とする。
- (5) 警告・退場
大会期間中、警告の累積が2枚になった選手は、次の1試合に出場できない。退場を命じられた選手は、次の1試合に出場できない。その後の処置については、大会規律委員会にて協議し、四国サッカー協会規律・裁定委員会が決定する。
- (6) 選手登録用紙は、試合開始30分前に会場本部（該当ピッチ）へ1部提出する。試合毎の登録人数、交代人数の制限は設けない。選手交代は、後半の交代回数を3回までとし（1回に複数人を交代することは可能）、前半、ハーフタイムでの選手交代は、後半の交代回数に含まれない。また、交代して退いた競技者は交代要員となり、再び出場することができる。
- (7) 選手の用具・ユニフォームチェックについて
 - イ）本競技会に登録した正・副2組のユニフォーム（シャツ、ショーツ及びソックス）を試合会場に持参し、いずれかを着用しなければならない。
 - ロ）正・副の2色については明確に異なる色とする。（GKはFPと色彩の異なる正・副2セット）
 - ハ）ユニフォームチェックは、当該チーム同士にて行う。
 - ニ）ユニフォームの前面・背面には登録された選手固有の番号を付けること（GKを含む）。また、ショーツの番号については付けることが望ましい。なおユニフォームの色・選手番号の大会エントリー以降の変更は認めない。
 - ホ）ユニフォームのデザイン、ロゴ等が異なっても、主催者が認める場合、主たる色が同系色であれば着用することができる。
 - ヘ）ソックスにテープまたはその他の材質のものを貼り付ける、または外部に着用する場合、ソックスと同色でなくても良い。
 - ト）アンダーシャツの色は問わない。ただし原則としてチーム内で同色のものを着用する。
 - チ）アンダーショーツおよびタイツの色は問わない。ただし原則としてチーム内で同色のものを着用する。
 - リ）その他、詳細は（公財）日本サッカー協会『ユニホーム規程』に則る。
- (8) ユニフォームに表示する広告は、（公財）日本サッカー協会『ユニフォーム規程』に則る。
- (9) 各チームの登録選手は、原則として日本サッカー協会発行の選手証を持参しなければならない。ただし写真貼付により、顔の認識ができるものであること。
※選手証とは、日本サッカー協会のWEB登録システム「KICKOFF」から出力した選手証・登録選手一覧を印刷したものを原則とする。
- (10) 参加資格の違反、不都合な行為があった場合の処置については、大会規律委員会が決定する。
- (11) エントリー締め切り以降の選手の追加、変更は認めない。スタッフ登録数の制限は設けない。

(12) 試合の成立

イ) 試合開始時に7人未満の場合は棄権とみなす。

ロ) 試合開始時間に遅れた場合は、当該チームを不戦敗とし、そのゲームを0対3として扱う。

ハ) やむを得ない事情により試合が成立しない場合は、会場責任者・U-15大会事務局で相談し以後の対応を決定する。

ニ) 棄権したチームのスコアは0対3とするが、これにより得失点差等で順位に影響を及ぼす場合は、棄権チームとのスコアは全て削除する。

ホ) 落雷事故防止に関する試合の取り扱いについて

試合開始後、雷(暴風雨や突発的な自然災害も含む)の為に試合を中断した場合、およそ1時間様子をみたうえで再開できない場合、前半が終了している場合は、その時点のスコアにより試合成立とする。

また、前半の途中で中断し、再開できない場合は、中断時点からの再試合(スコア・出場選手・試合残り時間等、中断時点のものとする)を行うこととする。

但し、やむを得ない事情で当該選手の出場が困難な場合は、交代手続きにより再開することとする。

(13) その他

イ) チームベンチへの入場は、事前に登録されたスタッフ・選手とする。

ロ) チームベンチは、会場本席からグラウンドに向かって左側ベンチをプログラム左側に表記されているチームのベンチとし、対戦チームを右側とする。

ハ) 選手登録は、必ず全員が傷害保険に加入していること。

ニ) 試合会場での応急処置は主催者側で行うが、それ以降はチームにて処置すること。

ホ) 大会規程に記載のない事案については、大会実施委員会にて協議のもと決定する。

ヘ) 試合球は持ち寄りとする。(1チーム1球)